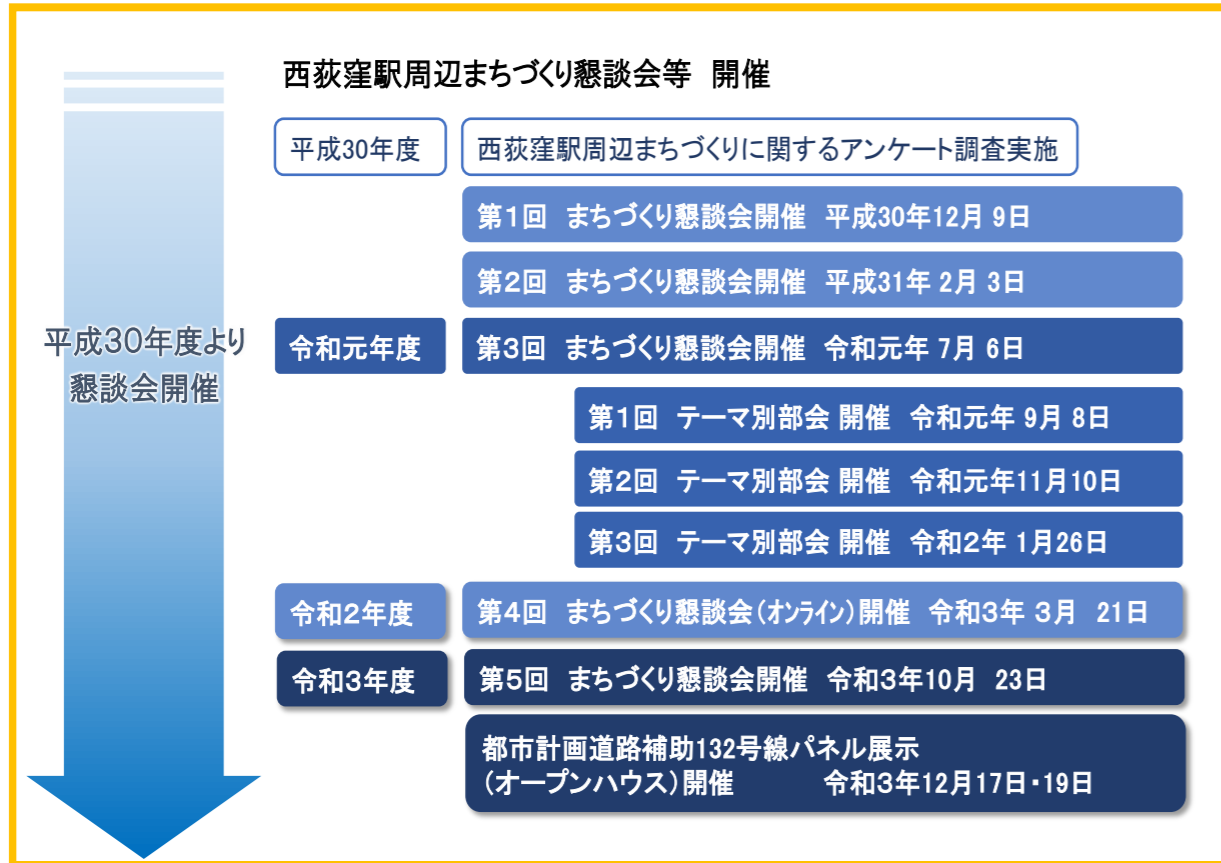


これまでの取組経過について

区では平成30年度から懇談会やテーマ別部会等を開催し、ご意見を伺ってきました。また、令和2年度からは、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、オンラインを活用して懇談会を開催するなど、「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定に向けて、取組を進めています。



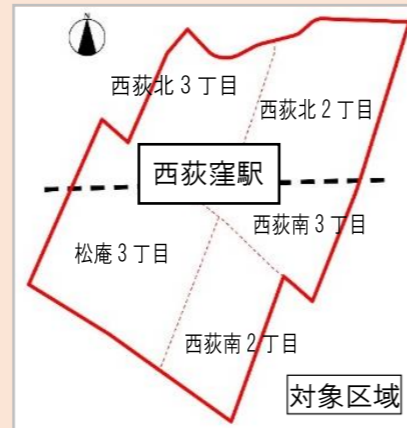
次回の第6回西荻窪駅周辺まちづくり懇談会は、**令和4年2月5日(土)午前**に開催を予定しています。今後、開催内容について変更が生じた場合、参加申込みをされた方にご連絡いたします。

まちづくり懇談会に新たに参加をご希望される方は、以下の参加要件をご確認いただき、問い合わせ先までご連絡ください。

- 【参加要件①】対象区域内に、
- お住まいの方 ●営業されている方
 - 土地または建物を所有されている方
 - 属している町会・自治会または商店会がある方
- 【参加要件②】継続的に懇談会にご参加いただける方

※**対象区域**は、西荻窪駅から半径500mを目安として、町丁目で区切った範囲です。

※参加要件に該当していない方でも、傍聴は可能です。以下の問合せ先までご連絡ください。



お問い合わせ先



杉並区 都市整備部 市街地整備課 拠点整備係
 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
 電話 03-3312-2111 (内線3383)
 メール KYOTEN-T@city.suginami.lg.jp (2次元コードもご利用ください)



西荻窪駅周辺

まちづくりだより



令和4年1月

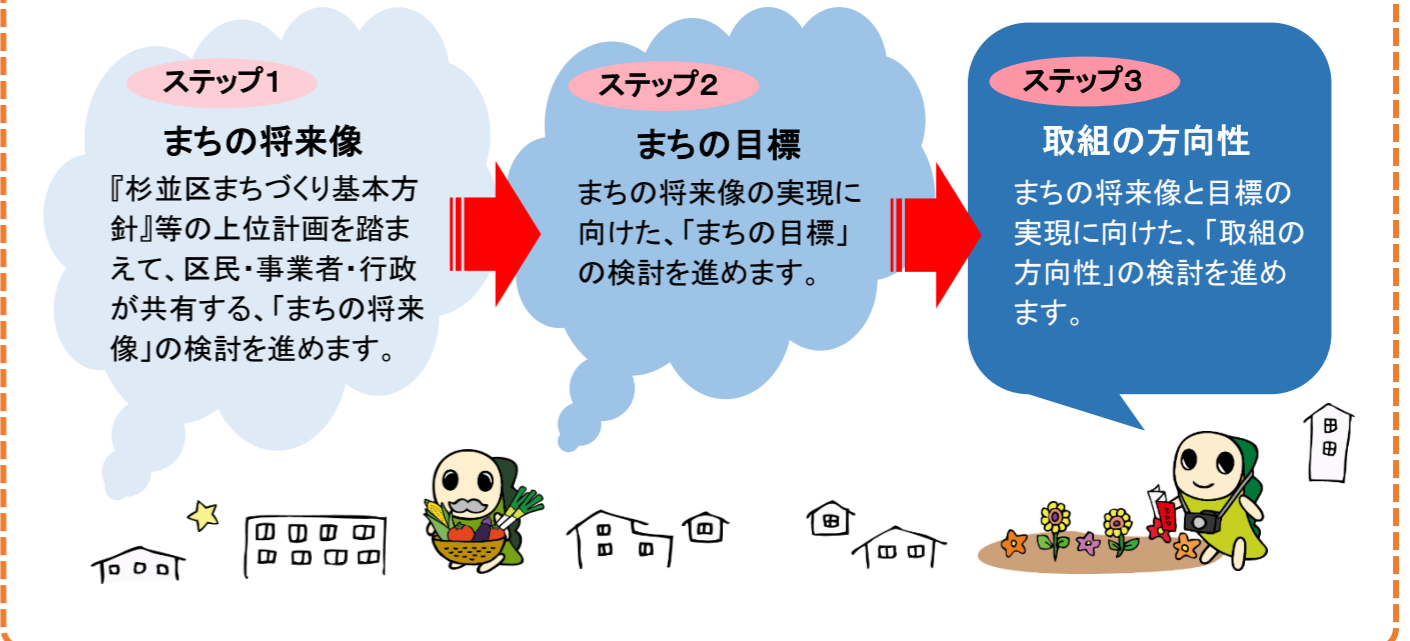
日頃より、杉並区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。区では、10月23日に第5回『西荻窪駅周辺まちづくり懇談会(以下、「懇談会」という。)]、12月17・19日に『令和3年度都市計画道路補助132号線パネル展示(以下、「オープンハウス」という。)]を開催しました。今回のまちづくりだよりでは、今後の進め方(予定)や第5回懇談会及びオープンハウスの開催概要等について掲載していますのでご覧ください。

今後の進め方(予定)について

今回のオープンハウスは、第5回懇談会で意見交換を行った際、都市計画道路に関するご意見・ご質問を多数いただいたことを受け、都市計画道路の取組へのご理解を深めていただくことを目的のひとつと捉え、担当課である土木計画課と連携して開催いたしました。

開催当日はたくさんの皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。第5回懇談会及びオープンハウスでいただいた主なご意見等については、次ページ以降に掲載していますのでご覧ください。

また、これまでにいただいたご意見を踏まえ、今後も引き続き、懇談会を開催し、「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定に向けて、以下の内容について検討を進めていく予定です。



都市計画道路について【お問い合わせ先:都市整備部土木計画課】

トップページ > 暮らしのガイド > まちづくり > まちづくり > 東京都市計画道路補助線街路第132号線



西荻窪駅周辺まちづくりについて【お問い合わせ先:都市整備部市街地整備課 拠点整備係】

トップページ > 暮らしのガイド > まちづくり > まちづくり > 西荻窪駅周辺まちづくり



第5回 西荻窪駅周辺まちづくり懇談会

【開催日時】令和3年10月23日(土) 10時30分~12時20分

【場所】西荻地域区民センター(勤労福祉会館)

【参加者】26名(対面形式:12名、オンライン形式:14名)、他 傍聴2名

第5回懇談会では、区より、まちづくり方針の策定についてや、第4回懇談会でいただいた主なご意見の紹介、前提条件となる杉並区まちづくり基本方針、都市計画道路の概要等について説明し、意見交換を行いました。



懇談会 会場の様子

直接会場に来ていただく対面形式と、オンライン形式を併用したハイブリッドタイプによる、まちづくり懇談会を開催しました。



懇談会でいただいた主なご意見

懇談会でいただいたご意見やチャットの書き込み、アンケートのご意見欄の記載の要旨は以下のとおりです。(一部内容を補足して記載しています。)

- 多様な意見のとりまとめは重要。回を重ねることで互いに違う意見をすり合わせるしかないと思う。拡幅大賛成という立場もあると思うが、その事も紹介してほしい。
- テーマ別部会等を出してきた意見は、今後どのように活用するのか。過去の意見を復習すれば良かったと思う。
- 障害者や高齢者等の多様な人の意見を聞く必要がある。
- 懇談会では道路整備を前提として西荻窪駅周辺をどのようにしたいか話し合える場にしたい。
- 方針を取りまとめても実現できなければ意味がない。
- 何度か懇談会に参加しているが、進展していないように思う。前提や目的を明確にして、具体的な話をする必要がある。
- 道路整備事業の説明は、非常に大切な要素なので、懇談会の第1回目に行うべきだったと思う。
- 道路整備や駅南口の土地利用等、行政で把握していることを適宜情報共有してほしい。
- 会場に道路整備担当も一緒に来て説明してほしい。
- 懇談会の対象区域は、道路整備事業の反対派を排除するために設定したのか。沿道を含めて、対象区域を広げるべき。
- 東京女子大に向かうバス通りの運用を変えることで、まちづくりに良い影響を及ぼすのではないか。
- 道路整備による防災対策よりも、災害時に助け合いができる人間関係を築くことが有効だと思う。
- 防災やまちの賑わい等を解決できる、まちづくりの手法などについて勉強会を行い、みんなで検討したい。
- 道路整備の歩道に関して、障害者への配慮やユニバーサルデザイン等の内容を踏まえ、障害者のニーズをお伝えしたい。
- 懇談会に、道路整備に関わる当事者を呼ぶべき。
- 参加メンバー対区役所という対立形式になってしまったのが残念。参加メンバー同士の意見交換ができる時間があると良い。
- 道路整備によりメリットがあると資料に記載されているが、失うものはどこにも記載されていない。

令和3年度 都市計画道路補助132号線パネル展示(オープンハウス)

【開催日時】令和3年12月17日(金) 14時00分~19時00分

【場所】西荻南区民集会所 【参加者】65名

【開催日時】令和3年12月19日(日) 13時00分~18時00分

【場所】西荻地域区民センター(勤労福祉会館) 【参加者】47名

オープンハウスでは、都市計画道路補助132号線の事業認可取得や用地取得等に関する内容と、西荻窪駅周辺まちづくりに関する取組経過や今後の進め方等についてパネルを展示し、いただいたご意見・ご質問に対して職員が説明を行いました。



西荻南区民集会所 会場の様子

パネル展示(オープンハウス)でいただいた主なご意見

オープンハウスでいただいたアンケートのご意見欄の記載の要旨は以下のとおりです。

- 道路とまちづくりを合同でオープンハウスを開催したのは良かったと思う。
- まちづくり懇談会の参加エリアを拡大し、より多くの住民との話し合いの場を複数設けるべきだと思う。
- 地上げから街を守るために、特に駅周辺について、具体的に出来る範囲の街づくりをアピールしてほしい。
- 防災面でもこの道路を最優先にする必要なし。駅周辺の開発も心配。さらに南側も広げるとなると無理がある。
- 安全な街になるように、引き続き進めていただきたい。西荻南側も先に燃えにくい区画にいただきたい。
- 西荻窪駅周辺が狭いうえに、車(バスを含む)の往来が多く危険だと感じていた。
- 70年以上前戦争が終わった直後に決まった都市計画であり、50年以上も前に都市計画変更されたもの。旧都市計画法の時代だったから、住民の意見を聞かずとも、進めていいという行政の在り方は、民主主義に反する。
- 工事施工中も歩きやすくしてほしい。丁寧に説明していただき内容が理解できた。
- 緑豊かなまちづくりに励んでほしい。子供達が安心安全に通学できる環境にしてほしい。
- 意見を言える場を作っていただき大変ありがたい。まだ不明な点が多くあるが、これからは説明会を開いていただき、解決していただきたいと思う。
- 障害者にとっても住みやすいまちづくりと道路づくりを進めてほしい。
- 駅前の街づくりにあたっては、現在の事業者が事業を続け、街並みを維持できるように配慮してほしい。
- まちづくりの中に環境問題の観点を組み込んでほしい。
- 道路拡幅予定用地をポケットパーク、イベントスペース、駐輪場、緑化など有効に活用しながら、町の良い雰囲気をつくってほしい。
- 道幅の狭さは良くもあり悪くもあり、特に古くから住む方々には難しい問題かと思う。
- 西荻地域の個性的な良さ(小さな個人店、古い建物の町並みなど)を考えると、道路拡幅は色々なメリットを踏まえてもなお、今この町でやる必要があるのか大いに疑問。